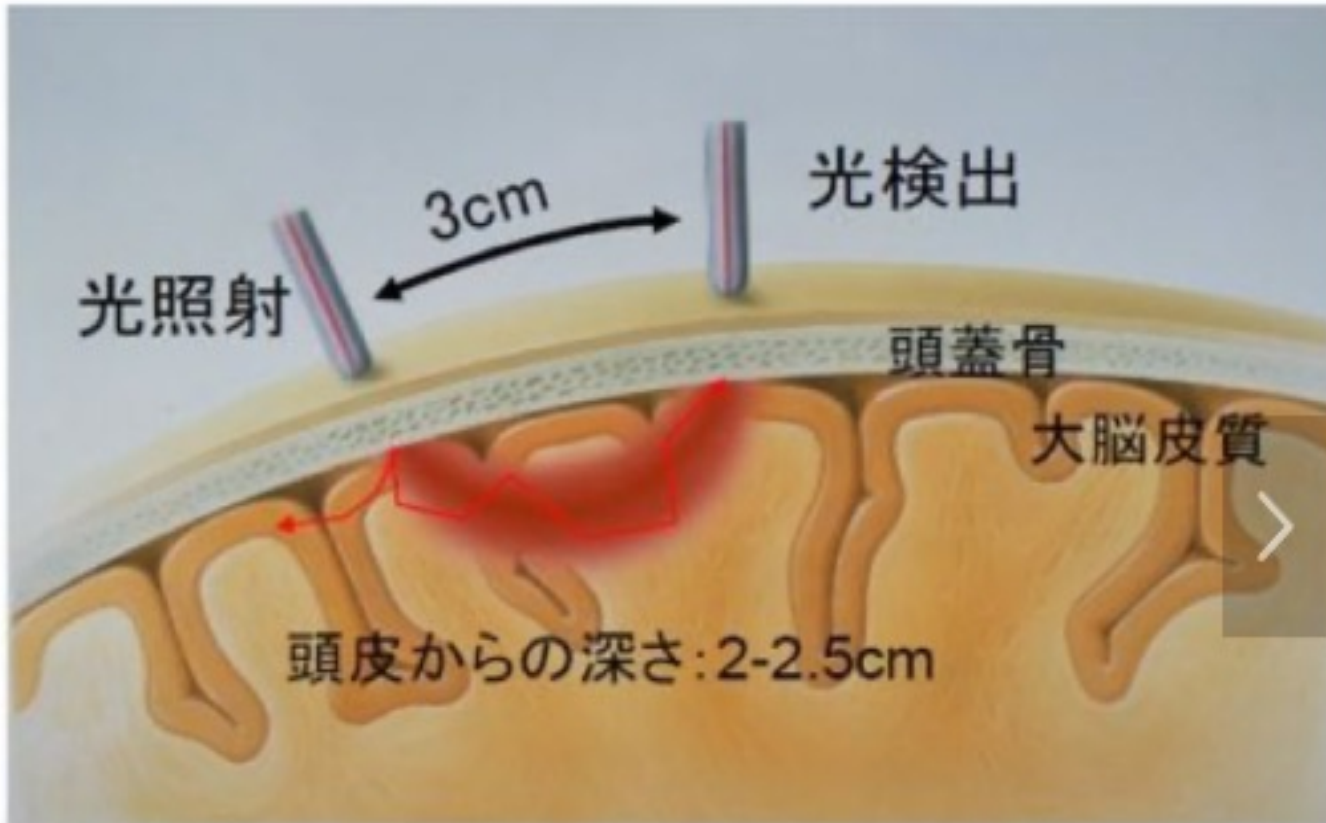


認知症に対する音楽療法研究

岐阜保健大学リハビリテーション学部
NIRS研究グループ

NIRSとは

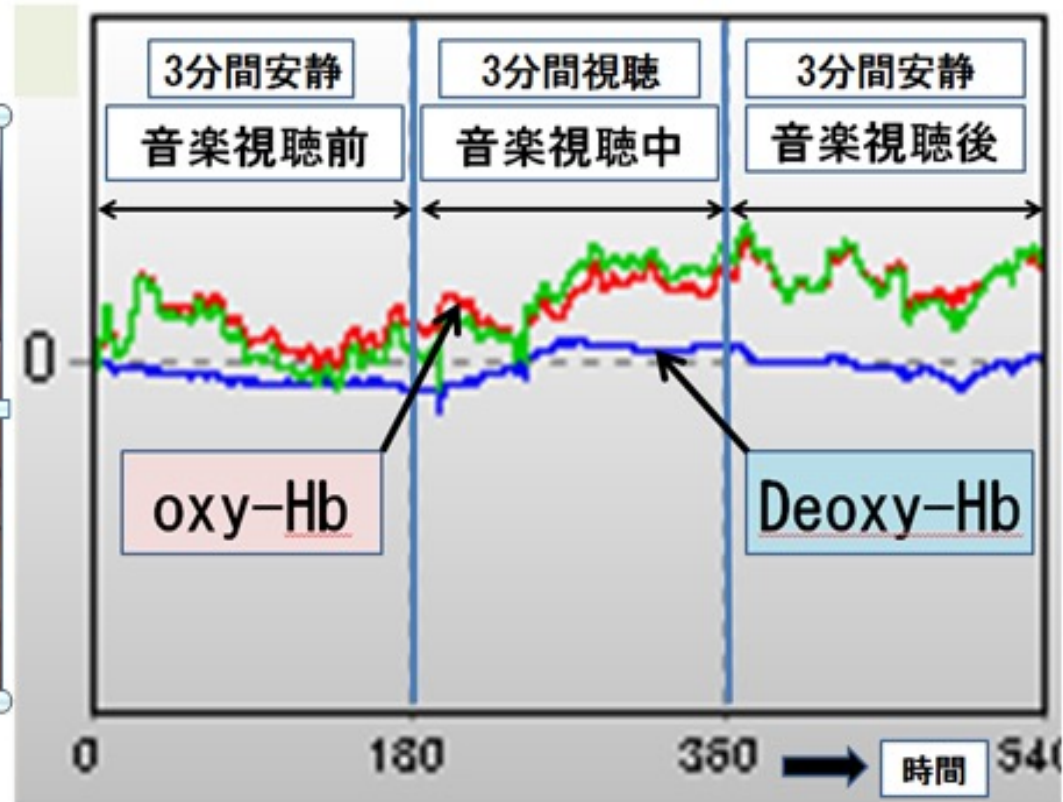
(Near-infrared spectroscopy:近赤外線分光法)



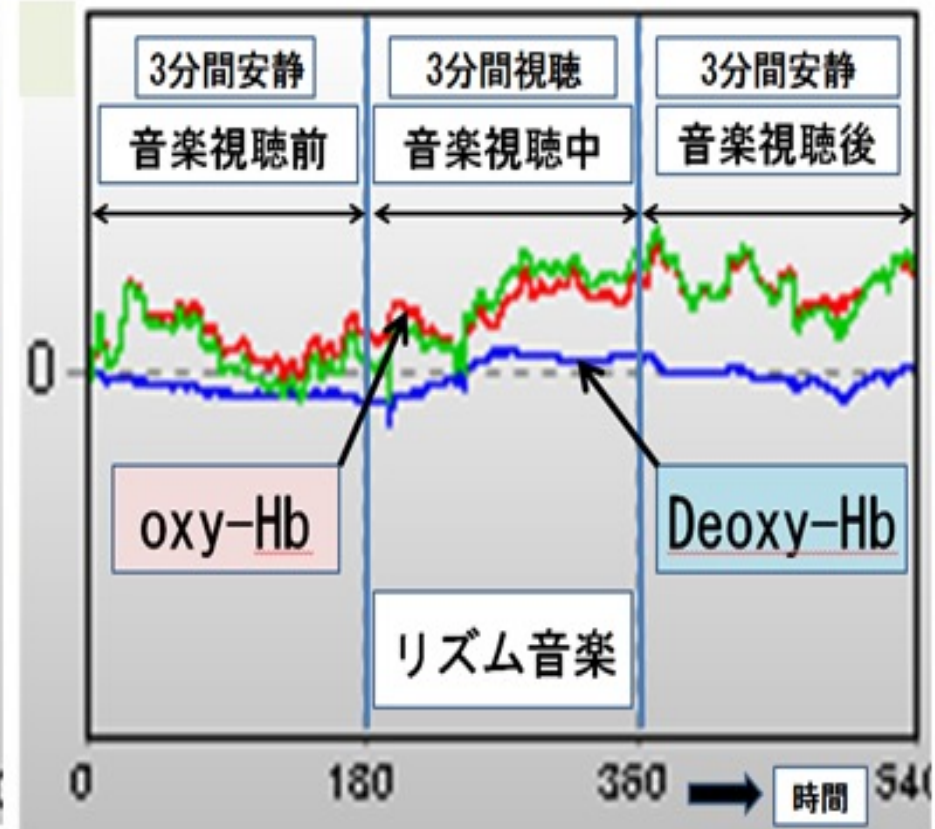
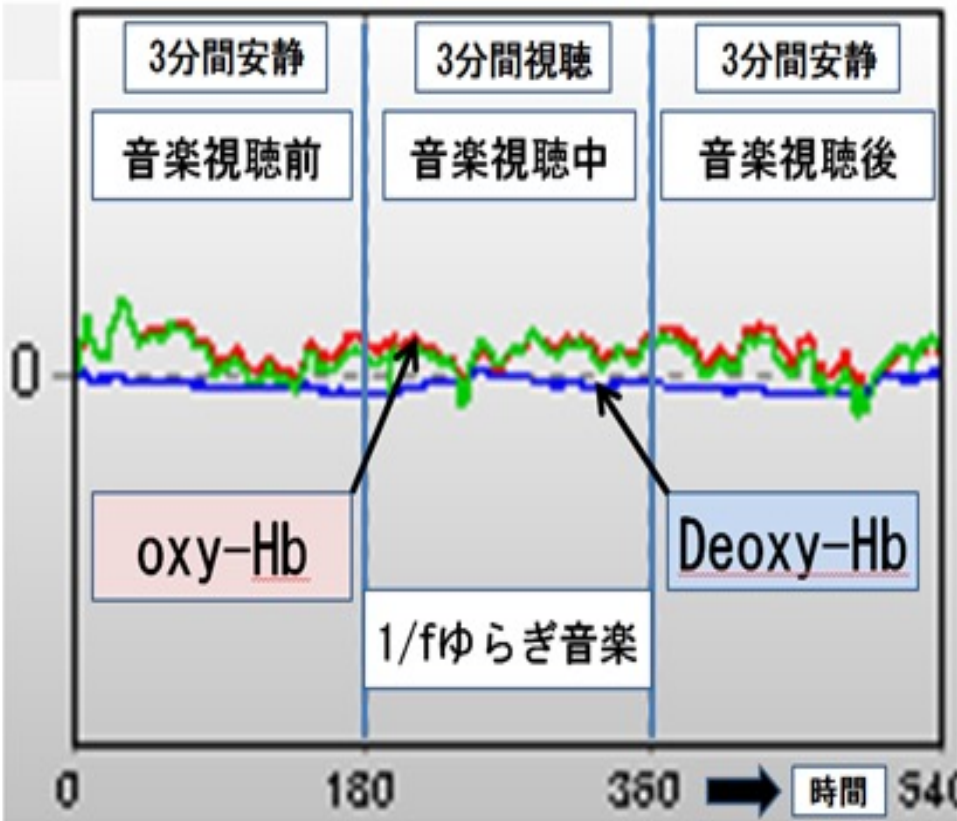
生体に透過性の高い**近赤外線光**を用いて、生体組織における**血流**、**酸素代謝変化**を測定する方法

脳活動に伴う大脳皮質内の
血中ヘモグロビン濃度変化を計測

NIRSの測定風景、測定方法及び測定内容



音楽の違いによるNIRSの変化



文献:

音楽療法の脳機能に関する研究

—近赤外線分光法を用いた音楽聴取時の脳活動の評価

1. 能動的音楽聴取(音楽に合わせてリズムをとり、拍手をする)は、受動的音楽聴取(音楽聴取のみ)時と比較し、前頭葉の賦活化が認められた
2. 鎮静曲聴取時は、ストレスの軽減およびリラックス効果を有する

(唾液中コルチゾール, α -アミラーゼ、IgA の低下)

文献2:

認知症と音楽療法

- 軽度の認知症を伴ったアルツハイマー型認知症の患者10名(平均年齢73.1歳)を対象とした検査において、音楽療法終了後、異なった複数の評価方法を用いて効果の判定をした。音楽療法士による評価および高次脳機能検査では、それぞれ半数以上の症例に改善効果を認め、お互いの判定結果には有意の相関性がみられた。